

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【公表番号】特表2015-528522(P2015-528522A)

【公表日】平成27年9月28日(2015.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2015-060

【出願番号】特願2015-530104(P2015-530104)

【国際特許分類】

C 1 1 D	3/20	(2006.01)
C 1 1 D	3/08	(2006.01)
C 1 1 D	1/02	(2006.01)
C 1 1 D	1/66	(2006.01)
C 1 1 D	3/12	(2006.01)
B 0 8 B	3/08	(2006.01)

【F I】

C 1 1 D	3/20	
C 1 1 D	3/08	
C 1 1 D	1/02	
C 1 1 D	1/66	
C 1 1 D	3/12	
B 0 8 B	3/08	Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

シランを含む組成物は、清浄及び活性化されたガラス表面に親水性を与えるために使用されている。これらの組成物のうちのいくつかの選好は、水性組成物の適用(以下「塗布」とも言う)の直前、又はそれと同時に活性化される表面のためのものである。しかしながら、そのような組成物は、典型的には、表面を事前に清浄することを必要とする。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0016

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0016】

いくつかの態様において、本発明は、以前に清浄された基材(以下「基板」とも言う)(例えば、本開示の方法によって清浄されたもの、又は本開示の組成物で清浄されたもの)の清浄度を決定する方法を特徴とし、本方法は、以前に清浄された表面を0~25の温度で水蒸気に曝露する工程と、凝縮が生じるか否かを観察する工程と、霧が存在する場合、表面が汚れていると決定する工程と、霧が生じないか、又は水蒸気への曝露後30秒を超えて存在しない場合、表面がきれいであると決定する工程と、を含む。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

**【訂正方法】**変更

**【訂正の内容】**

**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】**

多機能性水性組成物であって、

前記多機能性水性組成物が適用される基材表面に保護特性を提供するように選択される、双性イオン性シラン、スルホネート官能性のシラン並びにそれらの組み合わせから選択される親水性シランと、

前記多機能性水性組成物に清浄特性、湿潤特性又はこれらの両方を提供するように選択される、少なくとも2つの異なる界面活性剤と、

水と、

を含み、

前記多機能性水性組成物が、硬質表面清浄及び保護組成物である、  
多機能性水性組成物。

**【請求項2】**

水溶性アルカリ金属ケイ酸塩及びポリアルコキシシランのうちの少なくとも1つを更に含む、請求項1に記載の多機能性水性組成物。

**【請求項3】**

前記スルホネート官能性の双性イオン性シランが、以下の式(I)又は式(II)：

(R<sup>1</sup>O)p - Si(R<sup>2</sup>)q - W - N<sup>+</sup>(R<sup>3</sup>)(R<sup>4</sup>) - (CH<sub>2</sub>)m - SO<sub>3</sub><sup>-</sup> (I)

)  
(R<sup>1</sup>O)p - Si(R<sup>2</sup>)q - CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-N<sup>+</sup>(CH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>-(CH<sub>2</sub>)m - SO<sub>3</sub><sup>-</sup> (II)

を有し、式中、

各R<sup>1</sup>は、独立して、水素、メチル基又はエチル基であり、

各R<sup>2</sup>は、独立して、メチル基又はエチル基であり、

各R<sup>3</sup>及びR<sup>4</sup>は、独立して、飽和又は不飽和、直鎖、分枝状又は環状有機基であって、これらは互いに、任意に基Wの原子とで、結合して環を形成してよく、

Wは有機連結基であり、

pは、1~3の整数であり、

mは、1~4の整数であり、

qは、0又は1であり、

p+qは3である、

請求項1に記載の多機能性水性組成物。

**【請求項4】**

液体多機能性水性組成物であって、

前記液体多機能性水性組成物が適用される基材表面に保護特性を提供するように選択される、スルホネート官能性で双性イオン性の親水性シランと、

前記液体多機能性水性組成物に清浄特性、湿潤特性又はこれらの両方を提供するように選択される、界面活性剤と、

水と、

水溶性アルカリ金属ケイ酸塩、ポリアルコキシシラン及び無機シリカゾルのうちの少なくとも1つと

を含み、

前記液体多機能性水性組成物が硬質表面清浄及び保護組成物である、  
液体多機能性水性組成物。

**【請求項5】**

シリカ質表面を清浄及び保護する方法であって、

請求項1~4のいずれか一項に記載の多機能性水性組成物を前記シリカ質表面に適用する工程と、

前記シリカ質表面に前記多機能性水性組成物を擦り込んで、前記シリカ質表面を清浄及び保護する工程と  
を含む、方法。

**【請求項 6】**

シリカ質表面を清浄及び保護する方法であって、前記方法が、  
多機能性水性組成物を前記シリカ質表面に適用する工程であって、前記多機能性水性組成物が

前記多機能性水性組成物が適用される基材表面に保護特性を提供するように選択される、スルホネート官能性で双性イオン性の親水性シランと、

前記多機能性水性組成物に清浄特性、湿潤特性又はこれらの両方を提供するように選択される、界面活性剤と、

水と

を含み、前記界面活性剤の全重量の前記スルホネート官能性で双性イオン性の親水性シランの全重量に対する比が少なくとも 1 : 2 である、工程と、

前記シリカ質表面に前記多機能性水性組成物を擦り込んで、前記シリカ質表面を清浄及び保護する工程と

を含む、方法。